

本杉 和美 委員

新緑が太陽の光に鮮やかに映える季節となりました。本来であれば、子供たちの笑顔が校舎内にあふれるはずであったのに、今の学校はひっそりと静まり返っています。突如現れた新型コロナウイルスによって、子供たちが楽しみにしていた新年度のスタートがこのような形で奪われてしまい、私たち教職員も大変残念に思っています。

ただ、学校で学ぶことができるのも子供たちの健康、命があるからこそです。今は感染を防ぐための重要な時期ととらえ、臨時休業中に子供たちが学べる方法を考えたり、学校再開後に安心して学べる環境を整えたりしています。

そのような中、先日こんなことがありました。私たち教職員は、臨時休業中、日頃お世話になっている近隣の病院の皆様のためにマスクやビニールエプロンを作成しています。これを知った PTA 保護者の皆様から、「協力したい。」との申出がありました。保護者の皆様も感染の不安を抱えながら、育児や家事に忙しく過ごされていると思うのですが、大変うれしいお話でした。

一日でも早く子供たちと学校生活を送れることを願いながら、児童生徒、保護者、教職員が一丸となり、この難局を乗り越えていけたらと思います。